

言霊があなたを幸せにする秘密！  
＜純真学 入門編 序章「言葉と言霊」＞

## プロローグ

こんにちは。

さて、突然ですが、あなたは今の生活やこれからの人生がもっとよくなったらいいなあ、なんて思ったりすることはありますか？

もっと言うと、「運をよくしたい、運命を好転させたい、今までの人生すべてを肯定できるようになりたい、まっさらな、もっとクリアな自分になって、これからの毎日をイキイキワクワク歩いていけたら…、そんな望みが叶ったらいいな」、なんて心のどこかでかすかによぎったりすることはありませんか？

まんが「ドラえもん」のひみつ道具のように、そんな夢を叶えてくれるものがあつたらな…なんて。

それが、あるんです！  
キーワードは「言葉」。  
それも、自分や周りの人の使う言葉です。

言葉に意識を向ければ向けるほど、自分が本来持っている能力や可能性、輝きなどが発揮され、また、心から望むことが叶っていき、運命も好転できるといふ、とても身近で、すぐれものの「ひみつ道具」ならぬ「学問」があるのです！

それが「**純真学**」です！！

…と、ここで「学問」と聞いて、少し身構えてしまったでしょうか？  
もしそうだったとしても、無理もないでしょう。

何か学校の勉強とか宿題、大変、面倒くさい、先生に怒られる、堅苦しい…などなど、「学問」というとそんなイメージが浮かんでしまいますよね。そのお気持ち、よくわかります。

ただ、本来「学ぶ」って楽しいもののはずなのです。

例えば、好きなアーティストがいて、新曲を発表したとします。  
それをカラオケで歌いたいと思ったら、どうしますか？

きっと、ネットで動画などを見たり調べたりして覚えるでしょう。  
そうして覚えて、念願のカラオケへ…  
めでたしめでたし、ですよ。

…実はこのカラオケまでの一連の流れも「学ぶ」であり「学問」なのです。

「学問」を辞書で調べると、

- ① 学び習うこと。学校へ通ったり、先生についたり、本を読んだりして、新しい知識を学習すること。また、身についた知識。
- ② 理論に基づいて体系づけられた知識と研究方法の総称。  
となっています。

先の「アーティストの新曲の歌詞をネットで調べて覚えて歌えるようになる」も、まさしく学問と言えることが分かるでしょう。

料理のレシピ本を買ってきて、それを見ながら作る、というのもそうですが、学問って本当はこんなに身近で、毎日のようにやっていることなのです。

…でも、どうでしょう。

そうは言っても「学問」というと、四角い黒縁の眼鏡をかけた、ガチガチの大学教授みたいな人が、分厚いノートや辞書などを手にしながら、何か小難しい話をしている、というようなイメージが浮かんでくる方も多いのではないでしょうか？

…まさしく、そこなのです！

先程の、

「歌詞をネットで調べてカラオケで歌えるようになる」「レシピ本を読むことで、今まで作れなかった料理が作れるようになる」みたいに、本来は楽しいものであるはずの「学問」が、

今まで「学校」「無理やり、イヤイヤやらされるもの」「宿題」「先生に怒られる」「わからない」などなど、その人その人で培ってきた経験や先入観、固定観念等によって「つまらない」「堅苦しい」「敷居が高い」というネガティブなイメージになってしまうこともあるわけなのです。

これは、誰しも大なり小なり当てはまることじゃないかなと思いますが、それによって本来「学ぶ、学問」によって手に入れられるはずの、嬉しさ、楽しさ、達成感、幸福感などが実感できない、それどころか苦しさを手にしてしまっていると言っても過言ではない場合も多いんじゃないかなと思うのです。

それは、とってももったいないことじゃないかなと思います。

このことは「学問」という言葉だけにとどまらず、あらゆる言葉について言えることかと思えます。

例えば「男性（女性）」という言葉。

もし過去に「男性（女性）」のことですごくネガティブなことがあったとしたら、少なからずそのことが人生に影響してくることも考えられるんじゃないかと思うのです。

それが激しくなると「トラウマ」等という話になるかと思いますがそこまでではなくても、パートナーを見つけないと思って一生懸命頑張っているけど、なぜかどうしても、その一歩が踏み出せない、なんていう場合には、その「男性（女性）」という言葉にくっついているイメージや先入観が少なからず関係している可能性もあるのではと思うのですが、どう思われますか？

さて、このように、知らず知らずのうちに本来実感できるはずの楽しさや達成感、幸福感や喜びなどを感じさせないようにしてしまっている、その言葉にくっついているネガティブなイメージを取り払って、本来の幸福感や安心感を実感しながら、あなたが本来持っているエネルギーや輝きを発揮させ、望む人生を創造していくための学問が、この「**純真学**」なのです！

自分が生まれてから今まで、その言葉にどのようなイメージ（概念や価値観）をくっつけてきたかを知り、そのイメージがこれから自分の望む人生を創っていく上で、もし望ましいものではないなら、それをきれいに払い清めていく…。

（※概念とは、言葉に対する意味づけ。価値観とは、思い込みや決めつけのこと。）

そう、ちょうど、キラキラ輝く宝石に知らず知らずのうちについてしまったチリやホコリをきれいに払っていくように、そのくっついたイメージを払い清めていくのです。

それによって言葉本来の持つエネルギーが発揮され、さらに、それを話す人の本来持っているエネルギーが発揮されるようになり、自信に満ち溢れた力強い言葉になり説得力も増し、そして望む現実を創り上げていけるようになるのです。

純真学とは、そんな世界への入口となる学問なのです。

純真学が、それを学ぶ方にどれほどの絶対的な幸福感や安心感（絶対安心・絶対幸福）をもたらしてくれるものか、ぜひあなたにお伝えしたく、これを書かせて頂きました。

**あなたが本来持っている輝きを発揮して、心から望む現実が手に入れられる、純真学の世界へ、ようこそ！**

## （1） 純真学の起こり

### ～世界における日本の役割との関係～

それでは、順を追って純真学についてお伝えしていきたいと思います。

さて、そもそも純真学とは、どこから起こってきたもののでしょうか？

純真学は日本で生まれ、開発されたのは、幸田宗昌（こうだ・ひろまさ）先生という方です。

プロフィールをご紹介しますが、先生は20歳から本格的に宗教、哲学、心理学等を学び、特に、脳と心と体の役割が人生の創造にどのような関係を持つかについて研究を重ね、「知識」と「行動」の実践的なバランス感覚を養うと共に、心の豊かさと実業の両面を啓発するためのトレーニングを実践しました。

その間、大手販売企業においては2年連続日本一に輝くトップセールスを達成し、その一方では、生の逆境とも言える時期を何度も乗り越えられています。

こうした自らの体験、さらには27年の間に1万人を超えるクライアントとの対面セッションや指導を行ってきた実績をもとに「生きがいの創造」(天命)と「仕事のやりがい」(天職)をマッチングさせる、潜在能力や感性の開発を目的とした独自のメソッド【IRM (Idea Reading Method)】を構築。

そして現在はIRM トレーナーとして、「純粹動機」を持って、多くのクライアントに対し、「IRM 実感プログラム」やセッションを実施するほか各種セミナーで講演を行い、IRM の要である「感情学修」という技術の伝授をはじめクライアントが自らの力で問題解決や願望実現できるよう精力的にサポートを続けるとともに、IRM インストラクターの養成にも励んでいます。

一方、東日本大震災義捐活動として「心の無料相談」を開設し、多くの被災者の支えとなり、また近年では、心臓と感情の関係にも着目し、最先端の科学技術を用いたメカニズムの探求に着手されています。

(純粹動機とは「誰に何を言われようと何が何でも絶対にこれをするのだ」という強い信念のことで、これを持ってことに当たれば必ず実現するとIRM では言っていますが、そのくらい強い思いを持ってサポートしているということです)

純真学は、上記の経歴を持ち、今現在このような活動をされている幸田先生がずっと長い間構想し、温めてこられ、満を持して、2015年に発表した学問です。

そして、かねてより先生は「なぜ日本はこんなに核の被害に遭わねばならないのか？」とずっと考えていました。

世界で唯一、原爆の被害を受けた国であり（それも2度も）、また2011年には東日本大震災で核の脅威にさらされるということがあったわけですので。

それらのことを考えあわせている中で、先生は「核分裂から核融合へ」というインスピレーションを得るに至りました。

これまでは原爆に象徴されるように、核分裂によるエネルギー中心の世界だったが、これからは、今まさに研究開発が急ピッチで進められているクリーンエネルギーに代表されるように、核分裂より少ないエネルギーでより多くのエネルギーを生み出せる、かつ安全な「核融合によるエネルギー」が中心となる世界になる。

そしてその中心となるのは、核分裂エネルギーの脅威を体感し、それを世界一知っている国だといえる日本であり、それは今現在世界から「日本こそが世界平和を訴えるオピニオンリーダーになるべきだ」という評価を得ていることから証明されている、ということです。

このような流れから「核」をキーワードに、まさにIRMの核であり、一人ひとりの人生の核を「純真学」が磨き、より輝き出す、ひいては日本が世界に向けて、大きく社会貢献できるようなものを、と考えてこられたわけですが、

ちょうど戦後70年にあたる2015年、それも2個目の原爆が長崎に投下された8月9日という日に、満を持して発表されたのが、この純真学なのです。

それは偶然か必然か、あたかも、これまでの核分裂エネルギーからの卒業、脱却を宣言しているかのような、それを象徴しているかのようなタイミングでの発表だったのです。

…と、純真学の起こりはこのような形だったのですが、それでは「純真学」という名前はどこに由来するものでしょうか？また、どんな意味があるのでしょうか？

次の章でお伝えしていきたいと思ひます。

## (2) 純粋な望みが現実化する！

～「純真学」という名前に込められた思ひとは～

実は、「純真学」というネーミングにも、奥深い意味があるのです。

それぞれ、先程お伝えしました「純粋動機」の「純」、真理の「真」、これも先程少しお話ししました「感情学修」の「学」に由来しています。

つまり、純真学を学べば学ぶほど

- 純粋動機を養うことができ、
- 真理（宇宙の法則）に則って生きられるようになり、
- 感情学修もより上達できる、

という意味を持っているのです。

それはすなわち、叶えたいことを現実化する実現力がアップする、ということの意味しています。

そして、もうひとつ、「純心」の純、「真実」の真、「学祝（がくしゅう）」の学でもあります。

（祝の文字は「ご祝儀」など、「しゅう」とも読みますね）

こちらでの意味として、純真学を学ぶほどに

望みが純粋になり（本質に近づく）、  
真理を実感して真実に変えられる（夢が叶うのを実感できる）ようになり、それをお祝いできるような学問、という意味もあわせ持っています。

それを図にすると、こうなります。

心	実	祝
純	真	学
粹	理	修
動		
機		

IRM感情科学アカデミー

「純真学」の上に並んでいる赤い文字を、左から横向きに読んでみてください。

心、実、祝

つまり、心の実りをお祝いできる学問、ということです。

どういうことかというと、何かを学ぶというのは、一般的に考えて、「何かを知りたい、得たい」というものがあるかと思いますが、特にこういう心の勉強の場合は「心の奥底にある願いを叶えたい」とか「こういう自分になりたい」という純粋な思いがあると思うのです。

その思いが実る、まさに心の実りをお祝いできる学問なんですよ、という、幸田先生からのメッセージであり、エールでもある…

こんな思いが、この「純真学」というネーミングには込められている…  
そんな気がしてなりません。



純真学という名前にはこのような意味が込められていたわけですが、では、「言霊があなたを幸せにする！」の「言霊」とはどのようなものなのか、またタイトルにもある「言葉と言霊」この2つの違いは何なのか、ここのところがわかるとさらに理解が進むと思いますので、「言葉とは何か」というところから、次章にてお伝えさせて頂きたいと思います。

### (3) 言葉とは何か？ ～「言葉」と「言霊」の違い～

言葉が、純真学の中でどれだけの存在意義、意味を持ったものなのかをお伝えしてまいります。

まず、なぜ言葉に着目するのかについてさらに丁寧にお話ししていきましょう。

先程先生のプロフィールの中でお伝えした IRM（アイデア・リーディング・メソッド）では、**望む人生にシフトしていくために「価値観」に着目していきましょう**と提唱しています。

そして、自分がどんな価値観を持っているのか探るために、その入口となる「感情」に注目してきました。

ですが、その**価値観を形作っているのが「言葉」**だということから、よりダイレクトに価値観を分析していけるということで、純真学では言葉そのものに意識を向けていこう、となったのです。

ではその「言葉」はどうやってできているのか、何から形作られているのかをさらに細かく検証していきます。

例え話になりますが、よく健康診断で血液検査がありますよね。

この時「血液」と一口に言っても赤血球や血小板など、さまざまな成分から成り立っていますね。

そして、その構成要素、成分の状態がどうなっているかを調べることで、健康状態がはっきりとわかったり、どうすればより望ましい状態になれるかがより

明確になるわけです。

それと同じように、言葉の成分、構成要素を分析することによって、より望ましい現実を手に入れられるようになっていたり、そのための方向性が明確になる、というわけなのです。

そして、先生は言葉を、その核の部分たる「言霊」と、その周りにつくられている「概念・価値観」から構成されていると言っています。

それを図にしたものが、こちらです。



「言霊」は言葉の核たる部分であり、言霊と概念・価値観が合わさって、「言葉」というわけです。

言葉と言霊では、こういう違いがあります。

(※繰り返しますが、概念とは、言葉に対する意味づけ。価値観とは、思い込みや決めつけのことです。)

先ほど、宝石と、それについてチリ、ホコリのお話をしましたが、この図を見ながら「言霊」が宝石、「概念・価値観」がチリ・ホコリというふうにイメージしてみてください。

どうでしょう？

チリ、ホコリにびっしりと囲まれて、宝石の輝きが覆い隠されてしまっている、みたいな感じになっていますよね。

実は人は、そのような状態で、本来は宝石の輝きのようなエネルギーを持っている「言葉」という大きな財産を、輝きをなくし、エネルギーを失わせている状態で使っている場合が多いわけなのです。

冒頭の「学問」という言葉もそのひとつかと思います。

もしそうだとすると、とてももったいない感じがしませんか？

とはいえ、血液検査をすることで、この先、望む健康状態にするにはどうしたらいいかが明確にわかるように、言葉の構造を分析して明確にわかることで、概念・価値観というチリ、ホコリを払い清めれば言霊（宝石）が本来の輝きを取り戻せる、という明確な方向性がわかってくるわけなのです。

…と、純真学では「言葉」はこのように「人生を左右する大きな力を持ったもの（価値観）のさらに元となるもの」という、とても重要なものとして捉えています。

そして「言葉」と「言霊」の違いを上記のように捉えているわけですが、では、本当に言葉はそんなにすごい力をもっているものなのか、について、次章にて今までとは別の角度から検証していきたいと思います。

#### （４）言葉は神であった！

～すべての現実を創造している、ミラクルアイテム～

さて、少しお話の角度が変わりますが、私たちは誰しも、何かもの考えるとき、頭の中で「言葉」を使って考えていると思うのですが、いかがでしょう？

「確かにそうかもしれないけど…イメージで考えるのは？」

ご質問ありがとうございます。そうですね。イメージがありますね。  
ただ、「これをイメージしよう」という時に、「象をイメージしよう」「幸せな家庭をイメージしてみよう」など、それがモノでも事柄でも、何らかの言葉が浮かんでくるんじゃないかなと思うのですが、どうでしょうか。

それで、なぜ「考える」と「言葉」とを結び付けて書いているかというのと、「思考は現実化する」という言葉（真理）があるからです。

これは真理ですので、「地球では重力が働き、必ず上から下に物が落ちる」のと同じように、必ず思考が現実化している、という絶対的なものなのですが、この「**思い、考える**」というのは言葉を使って行っていますよね、ということが言いたかったわけです。

それも、自分が知っている言葉を使って、思い、考えていますよね。

整理しますと「思考が現実化する」ですから「思考＝自分の現実」となります。

で、言葉を使って思考するので、思考の中身は言葉です。  
思考＝言葉といえます。

かつ、その言葉というのは「自分の知っている言葉」であり、だから、言葉（思考に使う言葉）＝自分の知っている言葉、と言えるのです。

（自分の知らない外国語の言葉を使って考える、ということは、まずありませんよね。）

これをまとめますと、自分の知っている言葉＝自分の現実、要するに、「**自分の知っている言葉で自分の現実が出来上がっている**」となるわけなのです。

そうだとしたら、言葉の力って何かすごいと思いませんか？

それで、言葉の力ということをもた別の角度から検証していきますと、キリスト教の「ヨハネ福音書」という書の中に「初めに言葉があった。言葉は神とともにあった。言葉は神であった」という一節があります。

まさにそれだけの力があるのだ、と認めている証じゃないかなと思います。

日本のことだと「大和言葉（やまとことば）は神の言葉である」「日本人は本来、いにしえから神の言葉を話していた」というお話を幸田先生がされています。

日本においても世界（西洋）においても、それほどまでに言葉というものは力を持っているものであり、自分の体験する現実や人生に大きな力を及ぼす、ということだと思います。

その言葉の核たる部分が言霊なわけですが、その言霊の持つ力について、幸田先生はこのようにイラスト化しています。



IRM感情科学アカデミー

言霊の中に神がいる（神性がある）ということです。

尚、日本では八百万の神（やおよろずのかみ）と言われるように、キリスト教のように唯一絶対神、という考え方ではなく、ありとあらゆる存在の中に神はいる（神である）、という考え方を古来から持っています。  
その考え方にも、この図は合致していると言えるでしょう。

（これは私の思うところですが、「神」という漢字の中にも「申す」という「言う」系統の字が内蔵されていることが、とても象徴的だなと思いました。）

※あまり「神」が出てくると、それこそ身構えてしまうというか、自分とはかけ離れた世界のお話、というように感じられる方もいらっしゃるのではと思いますが、実は、あなたの中にも神は存在していて、あなたは神なのです。

「ええっ！」

「いやいや、ちょっと待ってくださいよ、わたしが神だなんて。」

「何か宗教的なお話？」

そう思われるかもしれません。

これは宗教的な意味とかそういうことではなくて、古来日本の「八百万の神」の考え方でいきますと、水も空気も神なわけです。

で、人の身体はというと、肺には空気が入っていて、身体の約70%が水（水分）でできている、と言われていています。

こう考えると「あなたの中に神が宿っていますよ」「あなたは神ですよ」と言われても、かなり抵抗は少なくなるのではないのでしょうか。

…なぜこのお話を長く続けたかというところ、**「神」という言葉にも、かなり概念・価値観がくっついていませんか、ということ**を、実感を持って感じて頂ければ、と思っただけのことでした。

さて、言葉の力にお話を戻しますが、日本では、陰陽師、呪術、真言など、「言葉には力がある」という文化が歴史的に根づいているといえます。

それだけに、歴史的、民族的に観ても、潜在的には言霊の力をインストールしやすい民族だといえるんじゃないかなと思うのです。

それだけ日本人は有利だと言えらると思ひますが、潜在的に持っているというのと実際に出来るようになる、というのとはやはり違ひがありますよね。

では実際にその力をインストールして、言葉の力を強くする（説得力が増すなど、自分の話す言葉の力学を変えていく）にはどうしたらいいのでしょうか？

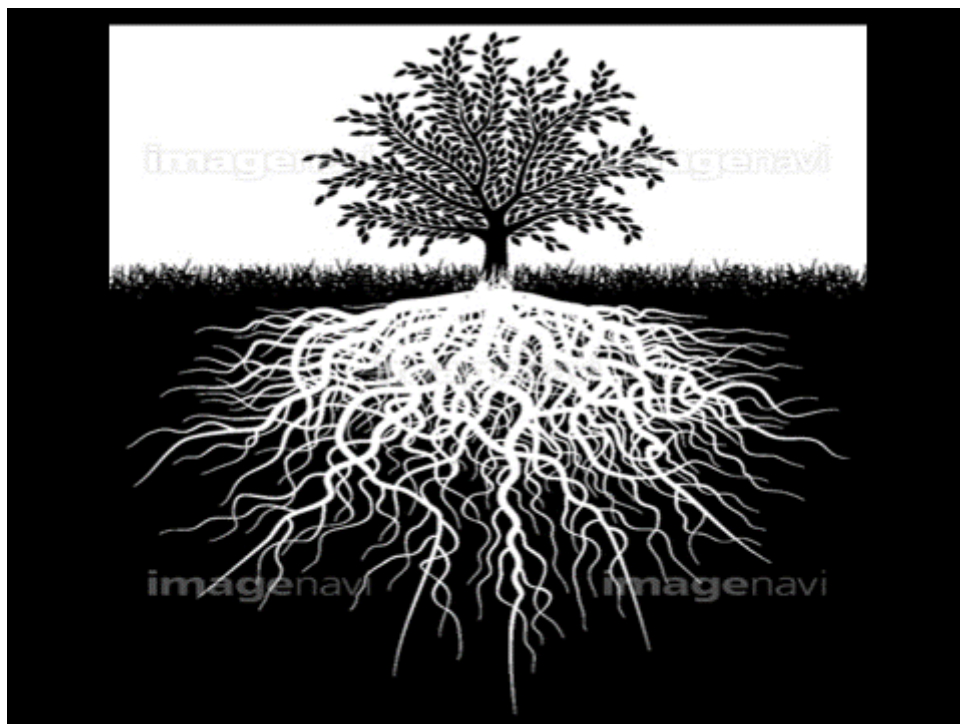
そして、望む現実を創造していくには、何をしていったらいいのでしょうか？

そのことについて、次の章でお伝えしていきたいと思ひます。

### （5）無限にある地下資源を掘り起こそう！

～無限の可能性を実感できる未来のために、今できること～

まず、この図をご覧ください。



この図において、「言葉」は葉っぱの部分、「言霊」は葉っぱを生かしている根の部分となり、言葉に力を与えるのは、根っこの方にあると言えます。

言葉＝葉

言霊＝根・・・言葉に力を与える

ということですが、先ほど書きましたように、根にある力がすべて葉っぱに届いているか（言霊の持つ力をそのまま言葉に乗せて使えているか）というと、そうとも限らない場合が多くあるのです。

それはつまり、根にある力が葉っぱに上がってくるまでのどこかの段階でブロックされているので、葉っぱまで上がってこないと考えることができます。

ではそのブロックしているものとは何なのでしょう？

それこそがいわゆるメンタルブロックであり、IRM でいうデトックスフィルター（感情発生装置）、純真学でいうところの言葉にこびり付いた概念・価値観であると言えるでしょう。

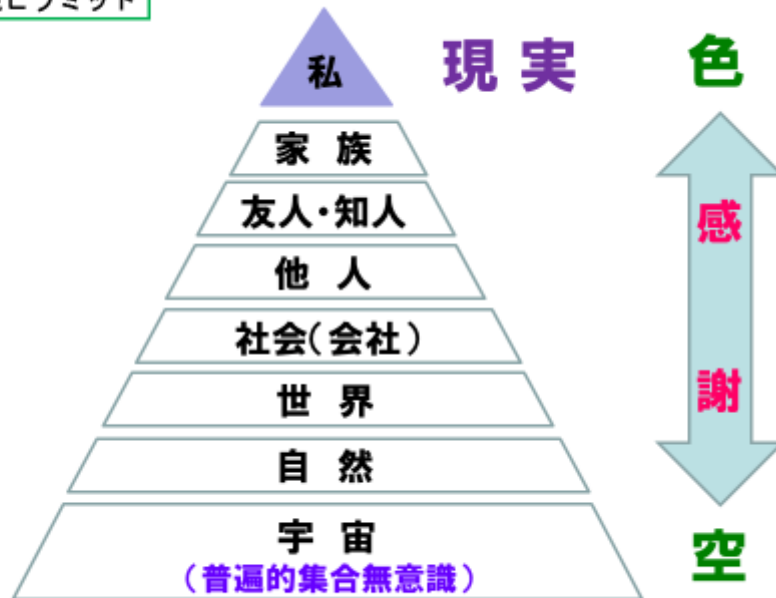
そしてそのメンタルブロック、デトックスフィルター、概念・価値観を、純真学を修得することによってきれいに払い清めていくことで、そのブロックは外れ、フィルターがきれいになり（概念・価値観が修正され）、言葉が本来持つ絶大な力が発現するようになるわけです。

そうして根っこのエネルギーが葉っぱまで上がってくるようになるのですが、せっかくなら「根っこの奥深いところ」から力が上がってきた方が（吸い上げられた方が）よりたくさん質のいいエネルギーを取り入れられるような感じがするので、いいと思いませんか？

では、どうしたら、より奥深くから吸い上げることができるかというと、次の図をご覧ください。



IRM統一観ピラミッド



IRM感情科学アカデミー

これは、「私」が、どれだけ多くの存在のおかげで、支えられて生きているのか、ということを表した図ですが、それぞれの存在に心から感謝できるようになればなるほど、実際にありがたい現実も受け取れるようになる、ということもあわせて表しています。

例えば、家族に感謝できなければ、どれだけ家族からよくしてもらっていたとしても、そのありがたいエネルギーは受け取れず、従ってありがたい現実も受け取れないとなる、ということです。

言い換えると、本当は家族からたくさんのエネルギーなど、いろいろなものを頂いているのに、「私」と「家族」の間にブロックがあるため、受け取れない状態になっている、ということです。

それで、なぜここでこの図を出してきたかという、根っこの奥深くからエネルギーを吸い上げられる話とそのままつながるからなのです。

つまり、言葉にくっついた概念・価値観を払い清め、このピラミッドで示す友人・知人、他人～宇宙へと、どんどん下に向かうように、「私」を支えている存在に対して心から感謝できるようになるほど、より深い根っこのところからエネルギーを吸い上げられるようになる、ということ。

言葉にくっついた概念・価値観を掃除して浄化し、清めていくことで、自分の中からより純粋な部分（言霊の力）だけが出てくる。そうなりと言葉本来の力が発現され、本当に望んでいる純粋な願望を引き寄せ、現実化できるようになるのです。

…さて、先程から「払い清める」「掃除して浄化し、清める」等という表現を使っていますが、「では具体的にそれをするにはどうすれば？」というご興味のある方に、お伝えいたします。

その具体的な方法が、IRMの要である「感情学修」なのです。

感情学修には考え方や手順の「型」があるので、初心者の方でも無理なくご自分のペースで始められ、型さえマスターすれば好きなだけ反復練習できますので、24時間365日上達できるチャンスがある、と言ってもいいでしょう。

そして、上達すればするほど、より払い清められ、言霊の力を発揮できるようになります。

「(2) 純粋な望みが現実化する！」でも触れましたが、感情学修を行うことで、純真学で言う「言霊の力」を最大限に発揮できるようになるということです。

感情学修が上達するほど、より払い清められ、払い清められるほど、より感情学修の学修効果が上がるという相乗効果が生まれ、その効果でさらなる人生好転、運命好転をもたらすのです！

別の表現で言いますと、ちょうど地球を深く掘れば掘るほど石油などの地下資源が豊富に掘り起こせるように、浄化すればするほど、自分の中から、よりピュアで無限なるエネルギーを掘り起こせて、他と比較するのではない、絶対的な安心感や幸福感を実感できる現実が起こってきます。

IRM ではこの「他と比較しない絶対的な安心感や幸福感」のことを、「絶対安心・絶対幸福」と言っていますが、そんな、心の実りを得られてお祝いできるようになる…これが、純真学の最大のメリットと言えるでしょう。

それを先生はこのようなイラストで表現しています。



IRM感情科学アカデミー

この木のように、純真学を学ぶ前は花も実もなっていなかったものが、学び、極めていくことによって



IRM感情科学アカデミー

このようにきれいに花が咲き、実をつけられるようになる、というわけです。

さて、純真学は、IRMの真髄と言える人生好転や絶対安心・絶対幸福の実感のためのエッセンスをギュッと凝縮して『革新』的に開発されたものです。まさにIRMの『核心』をついた学問と言えるでしょう。

これを学んで頂くことによって、今までよりさらにスピーディーかつ効率的に、何より確実にIRMを習得して頂けるものと『確信』しています。

すなわち、IRMの代表的な5大メリットである

- 絶対的な自信が持てる
- 天命、天職がわかる
- 絶対安心、絶対幸福で生きられる
- 無限の可能性に気づき、潜在能力を活かせる
- 感情をコントロールし、楽しめるようになる

を、より速く実感、実現して頂けるようになるものと確信しています。

そのためにも、純真学のお話は先生から直接生でお聴きになることをおすすめ致します。

なぜかという、先生が1回のセミナーで話される内容は、これの何倍もあるからです。

ここに書ききれなかったお話の中に、ピンポイントで心に響くものがあったかもしれません。

それを逃さないためにも、生で全て聴くことが一番だと思うのです。

また、セミナーにはIRMで現実や人生を好転させた方が何人もご参加されます。

「IRMを学ぶとそうなるんだ」という実感と確信に満ちた空気の中で学んで頂くことによって、ご自宅でこのテキスト等を見ながら学ぶのではなかなか実感することの難しいと思われる「自分もそうになれる!」という力強い自信や安心感、一歩を踏み出す勇気、モチベーションアップ等を感じて頂けるものと思いますし、実際に

「生のお話を聴いてみてよかった!」

「学んでいる皆さんの雰囲気はわかって安心した!やる気が一層アップした!」

等々、ありがたいお声をたくさん頂いております。

そして、参加すればするほど、その空気をご自分の中に取り入れて頂けば頂くほど、その自信や勇気、モチベーションがさらに培われ、よりいっそう現実好転、絶対安心・絶対幸福に向けて人生が動き出すものと思われまます。

(人は環境というものに大きく影響を受けますよね。)

また、その2つのセミナーでは質疑応答のお時間を設け、少人数のアットホームな雰囲気の中で、何でもご自由にご質問頂ける環境が整っています。

また、セミナー後には必ず、近くの雰囲気のいいお店で懇親会が開催されますので、そこでよりいっそうくつろいで頂いて、ゆったりした雰囲気の中、IRMで人生を好転された方々の体験談をお聴き頂くこともできますし、先生にもっと個人的なことを聞く機会としてもご活用頂けます。

そのような形でご活用されて、今まで何年も心につかえてきた「心に刺さった小骨」のようなものが取れて、とてもスッキリされて帰路につく、という方も少なくありません。

始まったばかりの純真学、今まさに“できたてほやほやのほっかほか”です。

そのアツアツの一番おいしいところを、ぜひ生で味わって頂けたら、この文字やイラストでの情報とはまた格別の、「味の真髓」を実感、堪能して頂ける絶好の機会になるかと思えます。

純真学のお話は、こちらでお聴き頂けます。

IRM アカデミー

詳細：<http://kanjyougakushyu.jimdo.com/irm-academy/>

次回 IRM アカデミーでは、更に踏み込んだ純真学のお話をされる予定と聞いております。

ここが要と言っても過言ではない重要な内容であることは間違いないと思いますので、日々の生活に即、活かして毎日がより幸せになる“とっておきのコツ”をお聴きになれるかもしれませんよ。

どうぞお楽しみに！

最後に、次回 PDF の予告です。

タイトルは<純真学 第一章 言霊の威力と発現力>

内容は、自分の伝えたいことがちゃんと相手の方に伝わるようになり、そうして自分の望む現実をどんどん引き寄せられるようになる《考え方のコツと言葉（言霊）の磨き方》を中心にお伝えする予定です。

お楽しみに！

そして、最後の最後に

《あなたからはじまる、心のキャンドルサービス》

この PDF は、これを読んで幸せを感じてくれるといいな、そのきっかけになってくれるといいな、と書いて、書かせて頂いています。

幸せのカタチは人それぞれかもしれないけれど、「幸せになりたい」という思いはあなたも、私も、そして世界中の方みんな同じなんじゃないかな、と思うからです。

だから、あなたがこれを読んで、もし「よかったな」とか「こういう見方もあるんだ、ちょっと気が楽になったな」等、思っただけなら、そして「〇〇さんもこれを読んだら幸せな気分になってくれるかな」と思う方が、もしいらっしやったら、キャンドルサービスでキャンドルの火をわけてあげるように、おすそわけしてあげて頂けたらと思うのです。

あなたのその温かな思いは、きっとその方の心に届くと思いますし、あなたも、さらに豊かな心持ちになって頂けることでしょう。

「そんな“心のキャンドルサービス”が広がっていったら、多くの方の心にぼっと明かりが灯って、少しずつでも明るい世の中になっていくんじゃないかな」そんな思いで、書かせて頂いています。

この PDF ファイルを転送してあげるか、プリントしてお渡ししてあげるか、どちらかあなたのしやすいやり方で、そしてその方が受け取りやすい形で届けてあげていただけたら、と思います。

(いろいろな方に喜んでいただけるのではと思いますが、中でも、言葉や言霊、自己実現、引き寄せ、潜在能力開発、メンタルケア等にご興味のある方でしたら、よりいっそう…と思われま)

“心のキャンドルサービス”  
あなたも、もしよろしかったら…

最後の最後までお読み下さいまして誠にありがとうございました。  
心より深く感謝申し上げます。  
スタッフ一同、あなたのご多幸と自己実現を心より応援しております。

IRM 感情科学アカデミー株式会社

☆ここまでが序章となります。  
次のページより、第一章となります。どうぞお楽しみに！



純粹な望みがよりスピーディーに叶う秘密！  
＜純真学 第一章 言霊の威力と発現力＞

まえがき

今回もこの PDF をお目にして下さいまして、誠にありがとうございます。

これは、前回の PDF でもお伝えしました  
幸田宗昌先生の開発された「純真学」について、先生が IRM アカデミーという  
セミナーでお話しされたことを中心に、「書き記して、少しでも多くの方のため  
になるように、お役に立つような形で活用するように」という先生の志を受け  
て、一門下生である私が書かせて頂いているものです。

なぜご自身で書く形をとらずに、このような形にしているかという、「一番、  
読者様に伝わりやすい形は何か」を考え抜かれた上でのことです。

そして、それを一番効果的に書き伝えるには、どのように自分の中で理解し落  
とし込み、これからの生活の中で活かしていけるようになるかを考える、ご参  
加者様と同じ目線の方が書いたほうが、より読者様にダイレクトにお役立て頂  
けるものになるのでは、ということで、この形をとっています。

ただ、ライブでは細かい所に至るまで、目の前にいらっしゃるご参加者様に一  
番フィットするようにお話しされ、また、その内容も多岐にわたるため  
それをそのまま書き起こすような形だと、かえって読者様には伝わりにくくな  
ってしまうのでは、ということが考えられます。

ですので、ライブでの一部、特に一番お伝えしたいというところであり、最も  
お役立て頂けるのでは、という一番美味しいところを厳選した茶葉から丁寧に  
一滴一滴抽出したお茶をお飲み頂くように、当日のお話やパワーポイントの資  
料に加えいろいろなたとえ話等を盛り込んで少しでも易しく、わかりやすくお  
読み頂けるように書いています。

また、内容はあくまで先生のお話しされたことの伝え聞きですので

「先生はこう語られました」

「～だそうです」

という文体が本来の形とは思いますが、それだとどうしても単調になり、そのことで、逆に伝わりにくくなってしまっても本末転倒では、と思ったのです。

そういうようなことを考え合わせまして、本来の形にとらわれず、いろいろな文体（形式）をとり入れています。

そのため、先生ではなく私（筆者）が考えたもののように読める箇所もあるかと思うのですが、あくまで先生のお話の伝え聞きで、読者の皆様に少しでもわかりやすく読みやすく、美味しく吸収して頂きたいという思いからのものですので、ご理解頂けましたら幸いです。

ついつい長くなってしまいましたが、どうぞ、お楽しみください！

## 目次

まえがき	2 5
序	
あなたには心から純粋に叶えたい望みはありますか？	2 8
在	
「ある」ということ ～夢が叶う材料は、今ここにすべてある～	2 8
躍	
引き寄せ力を飛躍的にアップさせる魔法の言葉とは？	3 0
創	
「音」が宇宙創造のはじまりだった ～そこに何を込めてお届けするのか～	3 4
全	
ほしいものを手に入れるにはどこから引き寄せたらいい？ ～「すべてがある世界」とは？～	3 7
法	
宇宙の法則を味方につけるために必要なこと ～「私事」から「仕事」へ、「私」から「渡し」へ～	3 9
和	
宇宙と調和して生きる ～日本の別名が「大和」である由縁とその意味～	4 5
結	
純粋な望みがよりスピーディーに叶う上で絶対に欠かせないものとは？	5 5

序

あなたには心から純粋に叶えたい望みはありますか？

こんにちは。

いきなりですが、あなたには叶えたい夢や目標はありますか？

仕事のこと、プライベートのこと、

「叶ったらいいな」くらいのことから、「何としてもこれだけは！」なことまで、さまざまあるんじゃないかなと思います。

そんな夢や目標、望みの中でも、心からの純粋な望みがよりスピーディーに確実に叶うようになるヒミツをお伝えしたいと思います。

どんな夢でもそれが叶うと思ったら嬉しく楽しいと思いますが、その中でも心から叶えたい純粋な望みがより速く確実に叶うと思ったら、いかがですか？

ちょっとイメージしてみてください。

何かそれだけでウキウキワクワク、よりハッピーになれる気がしませんか？

では、イメージではなく、現実の世界でワクワクを実感できるための方法をお伝えしていきます。

在

「ある」ということ

～夢が叶う材料は、今ここにすべてある～

まずはじめに、少し理科系のお話になります。

でもご安心下さい。

文系の私が書くため、そんなに難しいことは書きませんので。

前置きはさておき、この世のすべての物質は元素からできています。

つまり、新しい元素が発見されない限りは、この先、新発明されたものでも、今ある元素からできているということです。

元素の組み合わせが新しいだけで、その材料は今ある、もしくは「元々ある」元素だということです。

元素という漢字は「元々ある素材」とも言えますね。

大切なのは、もうすでに「今ある」のだということなのです。

さて、少しお話は変わりますが、探し物をする時に「ない、ない」と思いながら探すとなかなか見つかりにくく、逆に「ある、ある」と思いながら探すが見つかりやすい、というお話を聞いたことはありませんか？

実際に見つかる確率がどうかはわかりませんが、「ある」を前提に探すことで、良い影響を与えるんじゃないかなと思います。

そして、これって実は引き寄せにも深く関係しているんです。

たとえば携帯電話やインターネット。

50年、100年前にはなかったものですよね。

でも、それらの材料（元素）は、携帯電話やインターネットができるずっと前から地球上にすでにあっただと思うんです。

発明といえば、エジソンは日本の竹をフィラメントにして電球を完成させましたね。

この電球も、その材料の竹やガラスは元々あったものですが、組み合わせで新しいものができたのです。

いくら材料があっても、それだけで携帯電話やインターネット、電球がポンとできるわけではないということです。

では、それを現実化（現象化）させるものは何だと思いますか？

いろいろあると思うのですが、やっぱり「テクノロジー（科学）」だと思います。ちなみに IRM が感情科学アカデミーと称しているのも、感情と科学の仕組みの応用と融合によって現象化することを目指しているからなのです。

さて、テクノロジー（科学）が進化することで、それまでにはなかったものが生まれるわけですが、別の言い方をすると、「テクノロジーには、ほしいものを作るのに必要な元素をすべて引き寄せて現実化（発現）させる力がある」ということです。

ただ、こう書くと、「あるのはわかったけど、じゃあ実際にどうやって引き寄せたらいいの？私、そんなすごい科学もテクノロジーも持ってない！」というお気持ちになるかもしれないですね。

そのお気持ち、すごくよくわかりますので、どうしたら引き寄せられるようになるかについて、次の章で詳しく具体的にお伝えしていきますね。

## 躍

### 引き寄せ力を飛躍的にアップさせる魔法の言葉とは？

話は変わりますが、あなたは今まで生きてきた中で、犬や猫から直接、ほしいモノやお金をもらったことはありますか？

おそらく、ないですね。

お金もモノも人から渡されて手に入れたんじゃないかなと思います。

そう、引き寄せには人とのコミュニケーションが欠かせないのです。

ということは、それが今よりスムーズになれば  
引き寄せも今よりもっとスムーズになるというわけですが、  
その引き寄せ力を飛躍的にアップさせる魔法の言葉があるのです。

それは…

## 純粋に、届けたいことは何ですか？

IRM感情科学アカデミー

(図1)

です。

説明しましょう。

あなたが誰かとお話する時、そのお話の内容とは別に、相手の方の心に何をお届けしたいとお話していますか、ということです。

例えば「あたたかい気持ちになってもらおう」とか、「優しい気持ちをお届けしたい」とお話していますか？ということです。

そういう純粋な気持ち（マインド）こそが、相手の方の心に伝わって、本来伝えたいこともよく伝わるようになります。

それだけでなく、相手の方の言っていることもよく理解できるようになります。

このことがもっとよく伝わるように、こんな場面をイメージして頂けますか？

あなたが「ありがとう」と言う時に、相手の方の心がポカポカするようになると思  
って言う「ありがとう」と、何も考えずに言う「ありがとう」と、本当は腹が  
立っているけど、立場上どうしても言わなければいけなくて言う「ありがとう」  
とでは、3つともみんな聞こえ方が違ってくるんじゃないかなと思うんですが  
どう思いますか？

それでその時、相手の方の心に届くのは、「ありがとう」の言葉本来の意味より  
その奥に潜むマインドのほうなんじゃないかなと思うのですが、いかがでしょ  
う？

マインドって、良くも悪くも、届いちゃいますよね。  
それだけ威力があるっていうことだと思います。

だとしたら、やっぱりいい方に使っていきたいですね。

そうしたら「与えたものが返ってくる」の真理の通り、あたたかいマインドを  
受け取れると思うんです。

そうして心地良いキャッチボールの中でいろんなものを受け取れて、新たな出  
会いやご縁が広がって…という流れになって。プラスのスパイラルですね。

そうなるためには、何より



## 純粋に、届けたいことは何ですか？

IRM感情科学アカデミー (図1)

を意識することなんです。

余談ですが、これはどなたか他の方への時だけでなく、自分自身に言葉をかける時にも意識されるといいと思います。

ついつい自分だと「私のバ○!」「自分って、○メだな…」など、そういう言葉をかけたりしてしまうこと、ありませんか？

お気持ちはすごくよくわかるんですが、自分自身も大切な「人」です。

一生おつきあいする、誰より大切な人とも言えますよね。  
望むことも受け取ることもあなたという、大切な人であり存在あればこそだと思しますので、誰よりもあたたかい声をかけてあげて頂けたらと思います。

声と言えば、ふだん、メールや手紙を除けば、私たちは主に声を使って人とやりとりをしているかなと思います。

それで、声について考えた時、その本質である「音」が引き寄せにとって、とても重要な意味を持っていることがわかりました。

ですので、次章では「音」の観点からお伝えしていきます。

## 創

「音」が宇宙創造のはじまりだった？  
～そこに、何を込めてお届けするのか～

純真学では言葉の本当の意味（言霊）を、ひらがなや漢字から解き明かすアプローチをするわけですが、声を伝える前に意思が働く、その「意」という漢字に着目しました。

「意」は、心の上に「音」がありますね。  
つまり意とは、心の音とも言えるのです。

そして心で思ったことを音にして伝えるのが声となります。  
声や音が伝わる時に「響く」ということが大切な要素であり、「心に響く」という言い方もありますよね。

次に、この「響」という漢字を分解して観てみます。

すると「音の郷（ふるさと）」と書いてありますね。

これを見て「響きとは音のふるさと」と、この漢字自体が証明してくれているような気がしたんですね。

では「音」の漢字を分解してみるとどうなるでしょう。

「日」が「立つ」となっていますね。

これは、日が立ち出ずるところ、の意味で、「日」とは神道で天照大神（あまてらすおおみかみ）を指します。

つまり、天照大神が立ち出ずる、すなわち、生まれ出ずるところを意味していると捉えることができます。

要するに「音」とは天地創造、宇宙創造、すべてが生まれ出ずる元、ということの意味しているということです。

つまり宇宙創造のはじまりの、そのまたふるさと、元の元、はじまりのそのまたはじまり、というような意味になるかと思いますが、ここで「響き」を音の波、音波という観点から観て頂ければなと思うのです。

なぜかというと

そのことで、科学的にも説明できる一端になるかなと思うからです。

どういうことかという、響きとは音波、つまり音の波動ですよ。

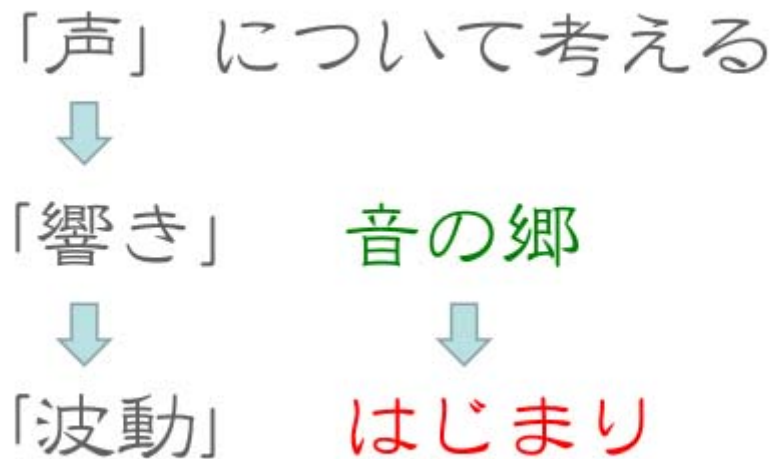
冒頭に元素のお話をしましたが、元素をさらに細かくしていくと、波動になります。

「万物は波動でできている」というお話もよくありますよね。

つまり、科学的に言っても、元の元、はじまりのはじまりは波動である、と言えるかと思うんですね。

で、日の立ち出ずるところ＝音波＝波動＝はじまり、という図式になり、科学的にも説明が可能と言えるんじゃないかなと思うわけなのです。

それはともかく、声についてのここまでのことを図で表すとこうなります。



IRM感情科学アカデミー (図2)

声は響きであり、響きは波動だということ。

そして、響きは音の郷（ふるさと）であり、はじまりを意味している、という図です。

そしてここでも先にお伝えしました「マインド（あたたかいものをお届けしようというマインド）」が大切になってくるのです。

先程の「ありがとう」の例のように、そこに何を込めてお届けするかで、声＝音＝響きもかなり変わってきて、その結果、その価値にもかなり差が出てくるんじゃないかと思うからです。

何と言っても「はじまりのはじまり」ですので。

ちなみにこういう観点の音の下にある「心」を伴った「意思」がどういう働きをもつか、この境地こそ創造主としての原点であり、この「はじまり」をもっと意識することで、望みが現実化する、発現する速度が加速度的にアップするのです。

なぜそうなるのか、そして、そうなるにはどうしたらいいのか、次章にてお伝えしていきます。

全

ほしいものを手に入れるには、どこから引き寄せたらいいのか？  
～「すべてがある世界」とは？～

さて、なぜそうなるかという「はじまり」にはすべてがあるからです。

と言ってもなかなかイメージしにくいのではと思いますので、巷でよく聞くんじゃないかなと思うお話をたとえに、お伝えしていきましょう。

よく、「この世では、思ったことが実現するまでに時間がかかるけど、いわゆる『あの世』では、思ったことがすぐ形になる」というお話を聞いたことはありませんか？

想念がすぐに実現したり物質化されたり、というお話。

このたとえ話でいう「あの世」がここでいう「はじまり」です。

また別のたとえ話になりますが、「私たちはどこから来てどこに行く（帰る）のだろう」みたいなお話ってありますよね。

いろいろな考え方はあるとは思いますが、一つの答えとして、「あの世から来て、あの世に帰る（ゆく）」という考え方があるかと思います。

つまり、「あの世」とは「はじまり」であり、すべての創造の源、必要なものはすべてあるという、「ある世（すべてがある世）」だということです。

「え、はじまりだから何もないんじゃないの？」と思った方もいらっしゃるかもしれません。

そうですね。そのお気持ちよくわかります。

それを説明するのに、たとえ話ですが、今、目の前にある「空気」のことを考えてみてください。

湿度、なんていう言葉もあるように、空気中には何%か水分が含まれていますよね。

ただそれは、普通の状態では人の肉眼では見えないものだと思います。

ですが、もしその空気中の水分をギュッと大量に凝縮できたら、肉眼でも見える「水分」(水)として現実化させることは出来ますよね。

さらにそれを凍らせたら、「氷」になり、それをまた温度を上げて蒸発させたら「水蒸気」になるというわけです。

水、氷、水蒸気を発現させる(現実化、現象化させる)材料は、この何もないように思える空気中にすでに存在しているということです。

それと同じような感じで、はじまりの世界には、すべてを発現させる材料(エネルギー)がすでにある(満ちあふれている)のです。

「はじまりだから何もない」のではなく、すべてがあるから、必要に応じてそれらを材料に発現(現象化、物質化)させることもできるということです。

はじまりの世界にすべてがあるということ、おわかり頂けましたでしょうか。

「あの～。それはわかったんですが、何度も『あの世』の話が出てくるんですけど、私はこの世でほしいものが手に入れたいので、そういうお話をお願いしたいんですけど…」

そうですね。よくわかっております。

だからこそこのお話をしているとも言えるのです。

どういうことかという、この世でほしいものを手に入れるためには、あの世(はじまりの世界)から引き寄せてくるのが重要なポイントになるからです。

もちろん、生きながらにしてです。

「え、そんなことできるんですか？」

できるんです。

ただ、そのためにはとても大切な考え方とコツがあるのです。

それを次章にて、お伝えしていきます。

法

宇宙の法則を味方につけるために必要なこと

～「私事」から「仕事」へ、「私」から「渡し」へ～

さて、冒頭のタイトルに「純粋な望みがスピーディーに叶う」とありますが、あなたは何のために、または誰のために、それを叶えたいと思っていますか？

純真学の引き寄せの考え方では、このところが、実はすごく大切なポイントなのです。

「私が幸せになるため」

そうですね。

ただ、もしかすると今までも「私が幸せになるため」という意識で、いろいろな情報を仕入れたり、さまざまな方法を学んだり試したりされてきたのではないのでしょうか？

それで望むような方向に進んでいたらいいのですが、もしそうでもないようでしたら、その意識を少し変えてみるのもひとつの方法では？ということなのです。

それによって、仕入れる情報も、またその受け取り方やアウトプットの方法も望む現実をドンドン創造できるよう変わっていくんじゃないかなと思うんです。

(但し、自分の幸せをないがしろにしてということではないですよ。  
先程も書きましたが、自分も大切な「人」なのですから)

その「意識の持ち方」についてのお話を、ここからいろいろな角度でお伝えしていきますね。

まず、仕入れという言葉が出てきましたのでその角度からお話ししますと、たとえ話ですが、一般的に、お料理にお砂糖を入れたら、それまでよりどんな味になるでしょうか？

そうです。甘くなりますよね。

では、お塩を入れたら？  
そう、しょっぱくなりますよね。

当たり前じゃないかって？

そう、当たり前なんです。

何を入れるかによって、中身が違ってくるんです。

言い換えると、何を仕入れるかによって、あなたが体験できる現実が変わってくるということです。

それで、少し話が発展しますが、自分が幸せになろうと思って、よかれと思ってやっているのに、知らず知らずのうちに望まない方向へ、ややもすると真逆のことになってしまったりすることってありませんか？

美味しいお料理を作ろうと思ってレシピを見ながらやっていたのに、ついうっかりお砂糖とお塩を間違えて入れてしまったり、途中で少しめんどろになって目分量で入れたら多すぎて、甘すぎたりしょっぱすぎたりして「ちょっと美味しいとは言いにくいよな」みたいな感じになってしまうようなことが。



そして、そんなことが何回か続いたりすると、「私には料理の才能がないんだ！もともと器用な方じゃないし」と少しヤケみたいな気持ちになったりして、美味しいお料理を自分でつくること（自分で積極的に望みを持つこと）自体をやめてしまったりするような場合もあるんじゃないかなと思うんですね。（私自身、そういう経験もしました）

もしそうだったとしても、それも体験する意味があつてのことだと思うのでいいとは思いますが、それよりもむしろ、本当に幸せになるために何を仕入れたらいいのかをしっかりと考えていくことで、ちゃんと心から望むお料理を食べられる、つまり、心からの望みを実現できるようになり、絶対安心・絶対幸福を実感できるようになるんじゃないかなと思うのです。

となると「そのためにはどういう仕入れをしたらいいのか」ですが、その前に、今までどういう仕入れをしてきたのかを知ることが大切です。

この先も今までと同じでいいなら今までと同じ仕入れでいいわけですが、もし変えたいなら、仕入れを変える方がより効果的だからです。

これについて幸田先生は、「人は人生の中で私事（しごと）をしています」とおっしゃっています。

これは文字通り「わたくしごとをしている」の意味ですが、それゆえ「わたくしごとのための仕入れをしている」というわけです。

そして同時に先生は、「これからは『わたくしごと』としての『しごと』ではなく、誰かのためになるような、誰かに仕えるような『仕事（しごと）』をしていきましょう」と言っています。

それを聞いた時に「働くとは、はた（周り）をらく（楽）にすること」というお話とすごくリンクするなと感じました。

この本来の意味で「働く（仕事をする）」ことによって、人間が本来持っている命のエネルギーや輝き、イキイキワクワクや引き寄せ力が働く＝発現する（現実化するようになる）っていうことじゃないかなと思ったんです。

私が思っただけではなく「はたらく」という言葉（言霊）がそのことを証明してくれているような気がしたんですね。

つまり、周りのためになること、人の役に立つこと、社会貢献や親切とも言いますが、それをすることが、人間本来の生き方であり、使命（命の使い方）だということを教えてくれているんじゃないかなと思ったんです。

そして、時あたかも、先日、2015年10月5日にノーベル医学生理学賞を受賞した大村智・北里大学特別荣誉教授が

「祖母から『人のためになることをしなさい』と言われ続け、分かれ道に立った時は、それを基準に考えてきた」

という言葉をはじめ、「人の役に立つこと」を熱く語られていましたが、その大村氏がノーベル賞という栄誉を与えられるということはまさしく、先ほど書いた

「人の役に立つことが人間本来の生き方であり、使命（命の使い方）だということ」

を世界が認めている証なんじゃないかなと確信したわけなのです。

※こちらは大村智氏の名言集です。

大変気づかされるところが多いと思いますので、もしご興味のある方はぜひ。

↓ ↓ ↓

<http://good-living.net/archives/1860>

さて話は戻りまして、使命という言葉が出ましたが、私たちの使命は、自分が、すべてがある「あの世」とこの世をつなぐ「かけ橋」となって、この世が豊かになるように渡していくこと、と純真学では考えています。

ここで言う「この世」とはあなたを中心としたその周りの世界全般のことなので、そうしてこの世が豊かになることで自動的にあなたも豊かになるわけです。

そしてこの「渡す（渡し）」という中にこそ、人（自分）がこの世に生まれてきた意味があると考えています。

だから日本語では、自分のことを「わたし」と言うのだと思います。

考えてみれば、人は生まれてからいろいろなものを渡されることで命を保ててきていますよね。

いえ、生まれる前からです。

お母さんのおなかの中で命を育む栄養を渡されたからこの世に生まれることができたわけですから。

そうして渡されたさまざまなものを、今後は自分が周りの人や次の世代に渡していく。

繰り返しになりますが、社会貢献や親切という言葉でも表される、その中にこそ人間本来の使命（命の使い方）が隠されているのではと思うのです。

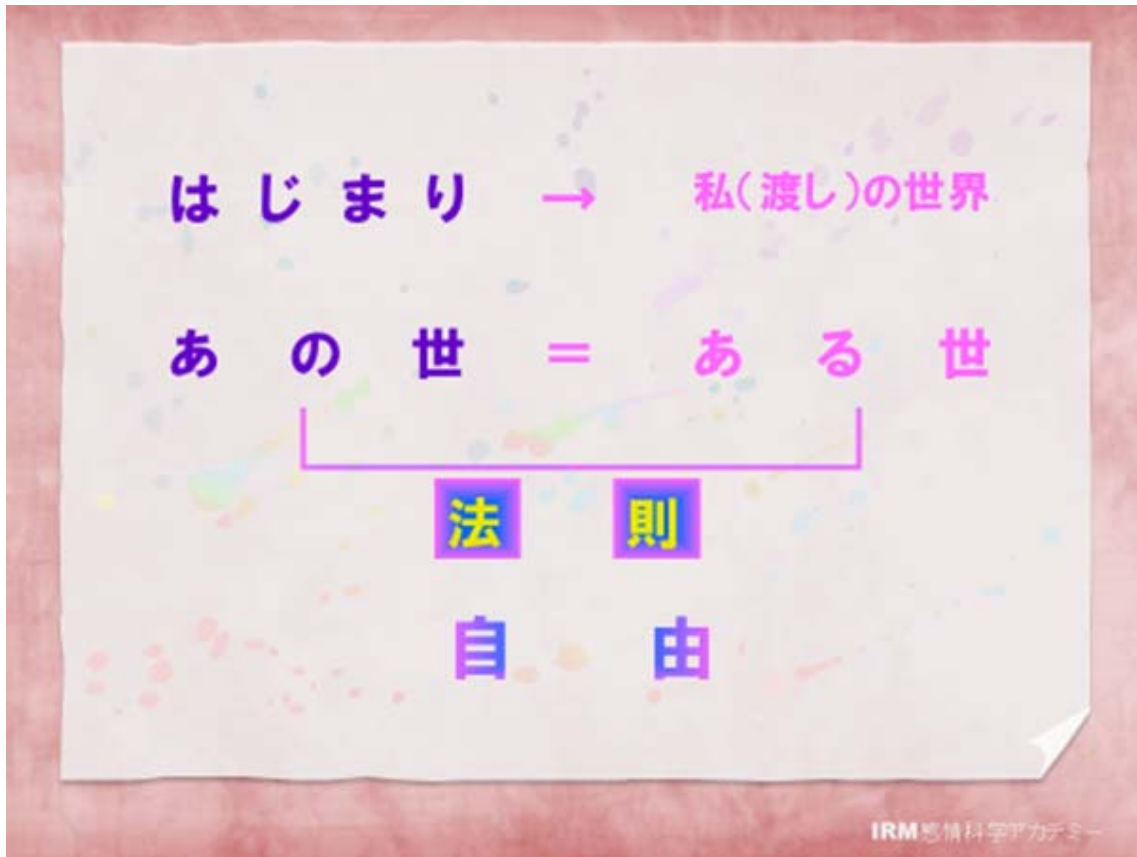
余談になりますが、日本のお正月の風物詩のひとつに「箱根駅伝」がありますね。

（箱根駅伝とは？<http://www.hakone-ekiden.jp/about/>  
箱根駅伝公式サイトより）

1本のタスキを次々に渡して行ってゴールをめざすあの営みに、人間本来の使命や命の営みを観てとることができる如果说は上げさでしょうか？

ただその辺りに、何十年も前から沿道に人が何人も集い、我がことのように応援するというあの変わらない人気の秘密があるのでは、と感じています。

余談はさておき、ここで、はじまりとあの世と私（渡し）との関係を図にしてみたいと思います。



(図3)

「はじまり」が「あの世」であり、それを「ある世」（すべてがある世界）と観て、はじまりの世界（すべてがある世界）から渡していくのが私の使命（私が生まれてきた意味）と捉えて頂けたらと思います。

下の方に「法則」「自由」とありますが、これは「あの世」を「ある世」と観る（統合する）ことによってあの世の「の」と、ある世の「る」が統合され、「のる」=のり（法、則）、すなわち「法則」が使えるようになる、ということを表しています。

つまり、渡していくことについて、宇宙の法則の力、絶対的な力が使えるようになり、より自由自在に渡していけるようになるという意味です。

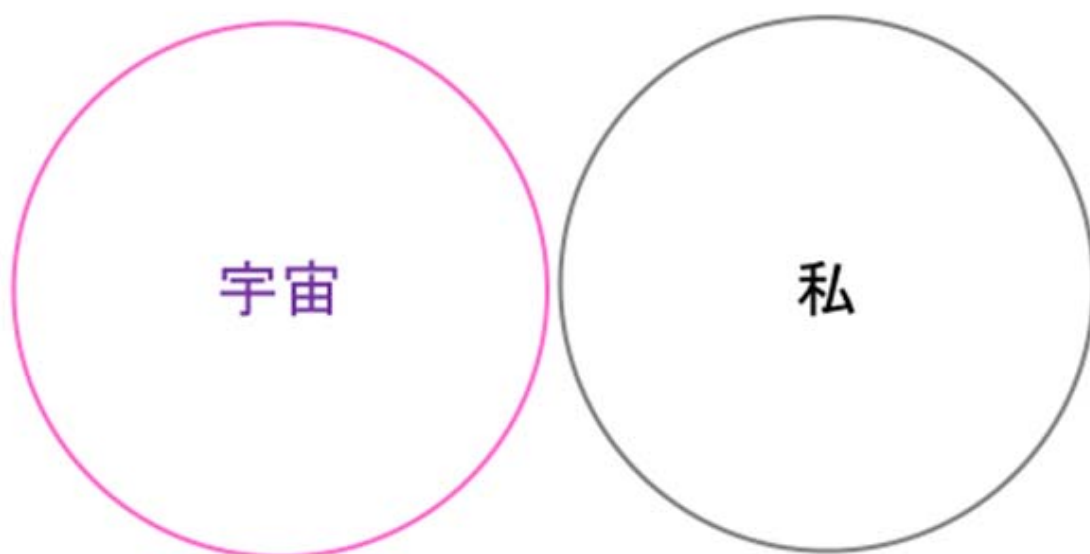
ではそうなるために、具体的にどんな考え方や行動をすればいいのかについて次章にてお伝えしていきます。

和

宇宙と調和する生き方へ

～日本の別名が「大和」である由縁とその意味～

まず、この図をご覧ください。



IRM感情科学アカデミー

(図4)

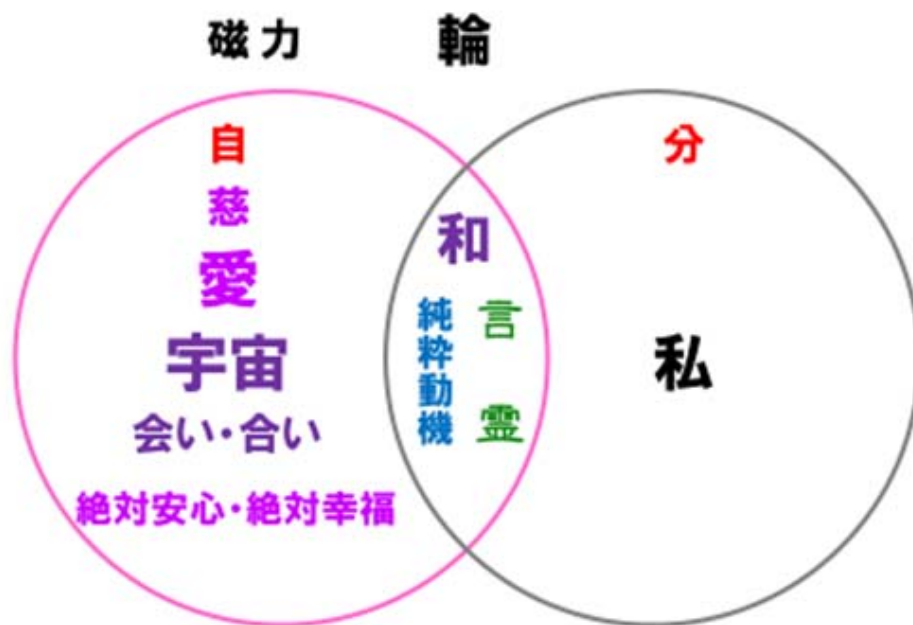
この「宇宙」とは、「あの世」をさしていると思って下さい。

「すべてがある世」です。

さてこの状態から、この宇宙にあるものを渡していくには（私の中に取り込んでいくには）どうしたらいいと思いますか？

この2つの輪を…

そうです！近づけて重なり合わせるのです！



**純粋動機：誰に何を言われようが何が何でも絶対にという強い信念**

IRM感情科学アカデミー

(図5)

この重なり合った部分が大きければ大きいほど、宇宙にあるものが「私」のものになり、渡していけるようになるのです。

この図にいろいろな文字が書いてありますが、とても大事なことで、ひとつひとつ説明していきますね。

赤い字で、宇宙に「自」、私に「分」とあります。

これは「自分」という存在が単に一個人の「私」だけでできているのではなく、その一個人の中に宇宙の要素も入っていますよ、ということを表しています。

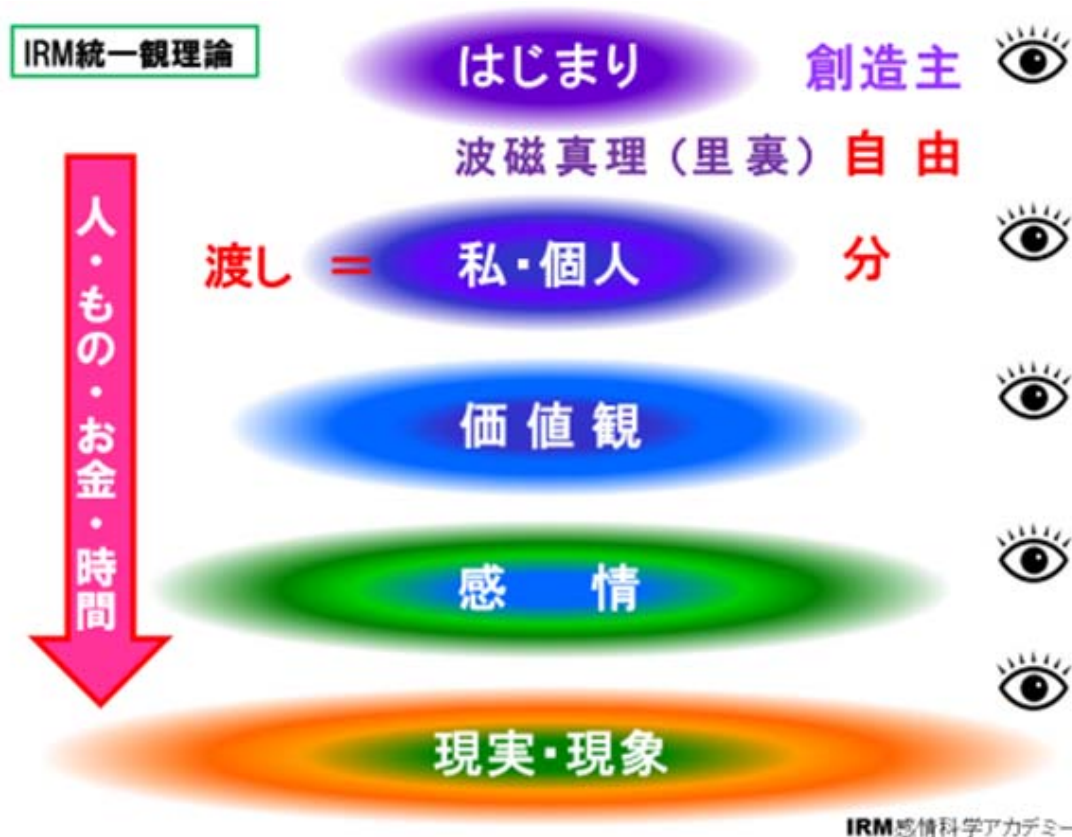
たとえば、身体はその70%が水分でできていると言われていたますが

言い換えると、身体の中に宇宙であり大自然の一部である「水」が入っているということですよ。

また、肺の中には空気も入っています。

このように身体の中には宇宙であり大自然そのものが入っていると見え、宇宙がそこに表現されていると言ってもいいんじゃないかなと思うのです。

このことは、宇宙を「はじまり」として捉えるとこういう図でも表せます。

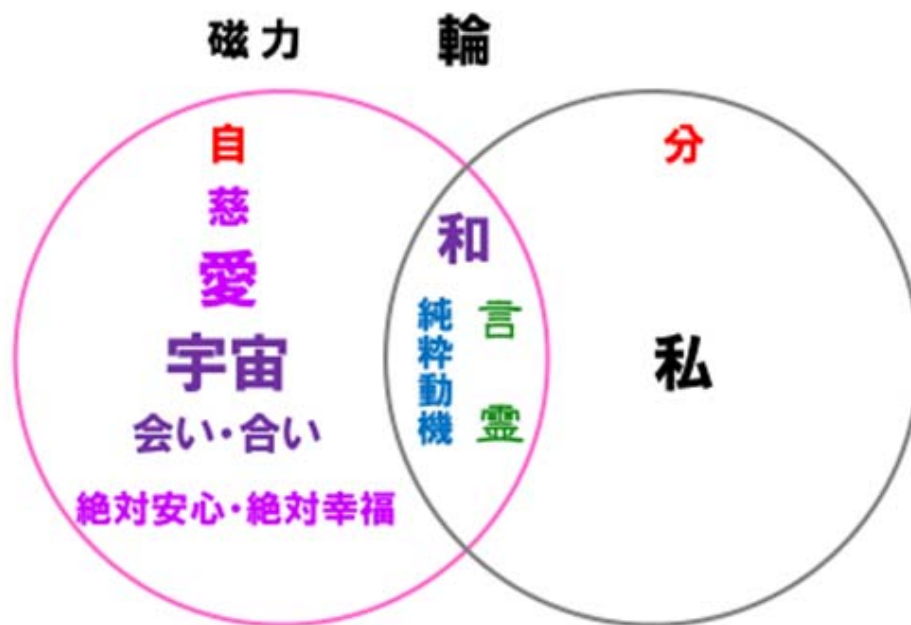


(図6)

<はじまり>が「自」であり<私・個人>が「分」だということです。

(この図にもいろいろな言葉や絵が描いてありますが、どういうことを表しているのか、もしよかったら考えてみて頂けたらと思います)

それでまた、輪が2つ重なった図に話を戻しますが



**純粹動機：誰に何を言われようが何が何でも絶対にという強い信念**

IRM感情科学アカデミー

(図5)

これは前回の PDF でお伝えした八百万神（やおよろずのかみ）の考え方ともリンクしていて、あなたの中に宇宙があるという考え方です。

そこから分かれたものが一個人である「私」という意味です。

そしてこの「自」は、磁力の「磁」や慈愛の「慈」にも通じています。

その磁力によってあらゆるものが引き寄せられ、それによって慈愛の世界、慈しみの世界も体験できるということです。

ちなみにここで言う「愛」とは、いわゆる「I love you」の愛というよりも「会い、合い」の「あい」です。



冒頭に元素の話をしました。いろいろな分子や原子が会う（合う）ことによって結合し、いろいろな物質が生まれるわけで、その意味で宇宙は「あいの結晶」であるとも言えます。

その「あい」がここで言う「愛」なのです。

※

また余談ですが、英語で「私」のことを「I（アイ）」と言いますね。

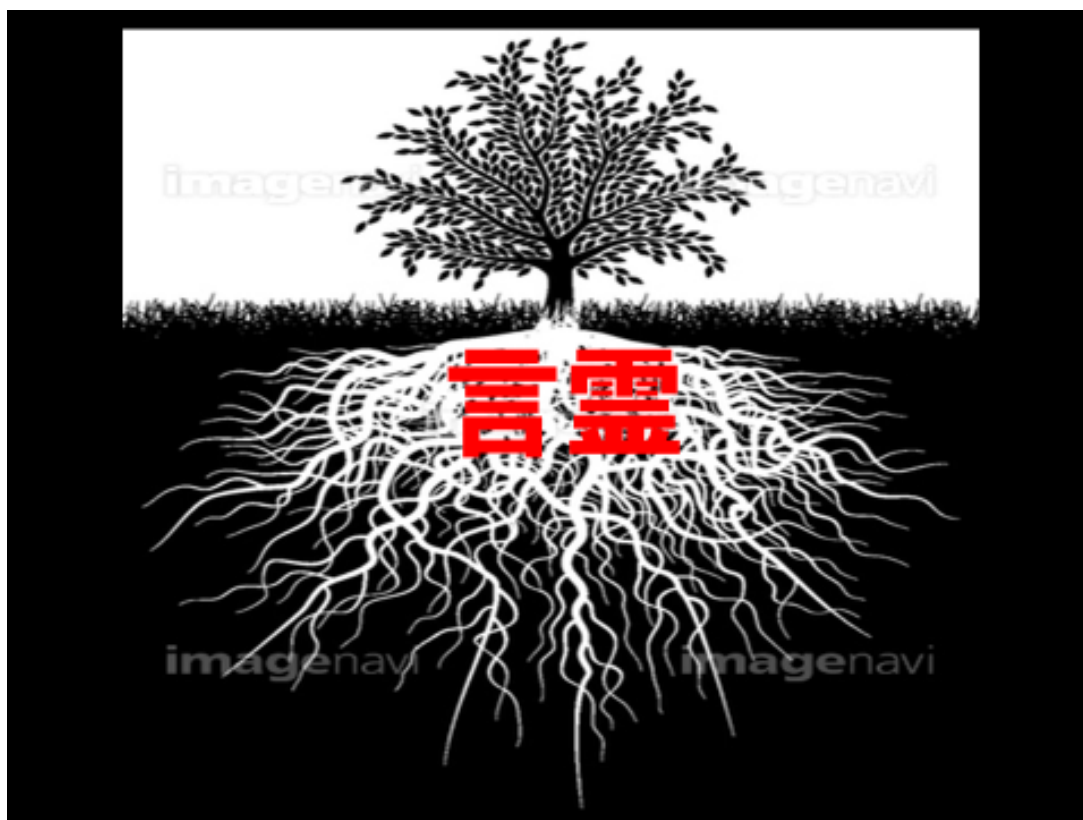
Iと愛（会い・合い）は音つながりですけど、渡し=私=I=愛=会い・合い、になって、言葉の垣根まで超えてみんなつながってくる感じで、言霊って面白いですね。

世界平和の話がさつきありましたけど、それが言霊の願いであり祈りなのかもしれないな、なんて思いました。

また図に話を戻しますが、絶対安心・絶対幸福とありますが、宇宙はすべてがある世界ですから、足りないものは何もないということで、絶対安心・絶対幸福の世界だということを表しています。

そして、その宇宙の輪と私の輪を重ね合わせることで「和」の部分生まれ、ここに純粹動機（誰に何を言われようと何が何でも絶対にという強い信念）を置くことで、自分の中の「宇宙の部分」が、より絶対的なエネルギーを発するようになります。

そして同じく、ここに言霊（現実を創造するための栄養を与える根っこの部分）を持ってくることで、



(図7)

より、この世に、絶対安心・絶対幸福の世界、慈愛の世界を発現させることができるようになるというわけです。

また、日本は別名「大和（やまと）」とも呼ばれていますが、この和の部分大きくしていきましょう、というのが「大和」の考え方なのです。

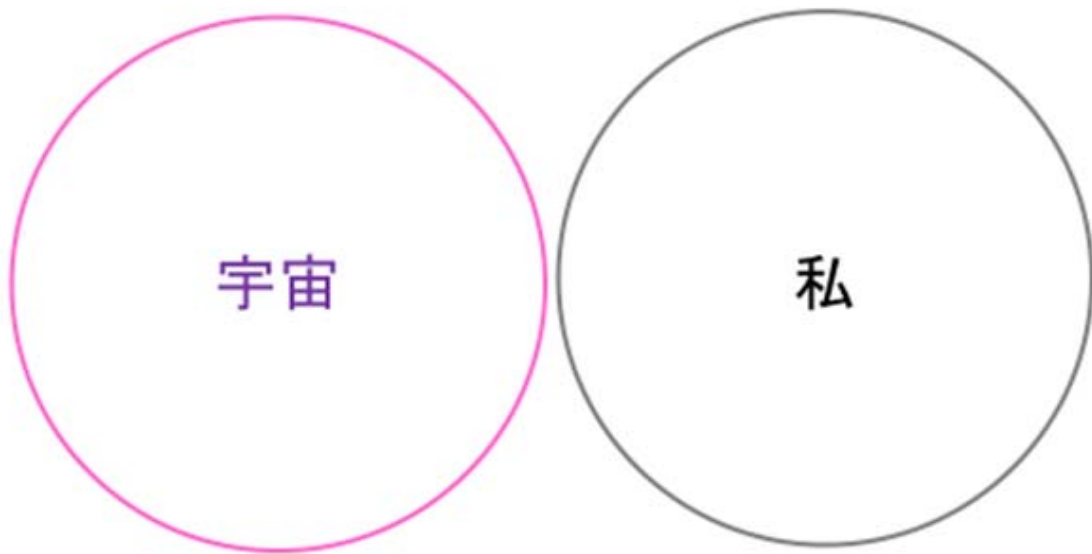
大和である日本がまさにその役割を担っている、前回のPDFでも書きましたが、世界平和のリーダーシップを日本が担っていく、というのはこういうところにも現れているんじゃないかなと思うのです。

そして、それは実は私たち一人一人の意識や考え方、行動の仕方がとても深く影響していると言っても過言ではないと思っています。

なぜなら「思考が現実化する」の真理の通り、私たち一人一人の意識や考え方が、この現実を創造する元になっていると思うからです。

とはいえ、だからといって何か大きなことやボランティア活動をしなれば  
ということでは必ずしもありません。

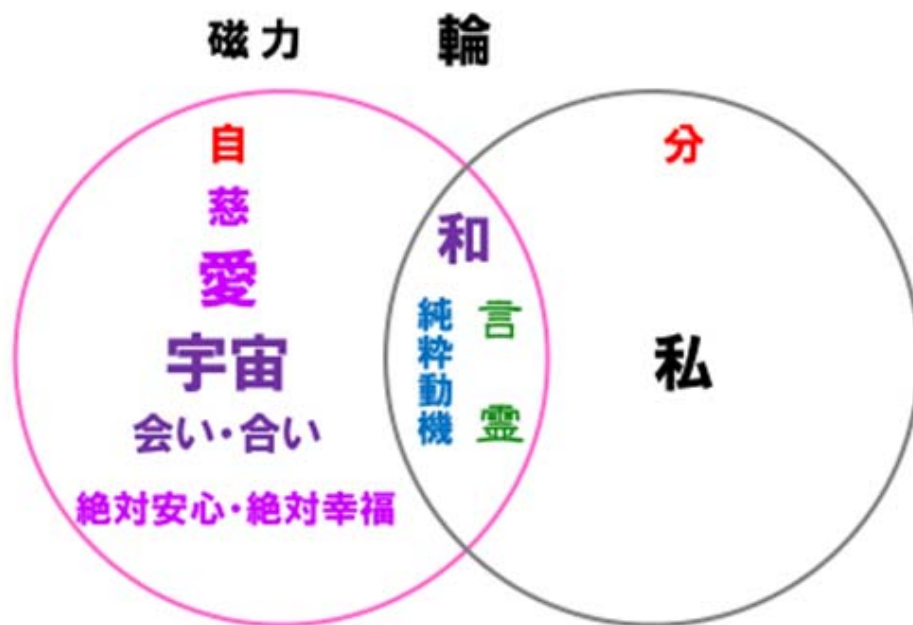
たとえば、もし、今まで周りの人やモノのことを



IRM感情科学アカデミー

(図4)

このように遠ざけるような生き方をされてきたとしたら、これからは



**純粹動機: 誰に何を言われようが何が何でも絶対にと強い信念**

IRM感情科学アカデミー

(図5)

このように、より少しでも周りとの調和していくような生き方にシフトしていく、ということです

なぜなら、それが私たち（渡したち）がこの世に生まれてきた意味であり、使命だと思っているので、そうしていくことで、命が本来持っている輝きやエネルギー、イキイキワクワクをより実感して毎日、生きがいをもって過ごしていけるようになるのではと思うからです。

それだけでなく、宇宙の法則を味方につけて、より自由自在に引き寄せができて、自分も周りも幸せで楽しい人生にシフトしていけるようになるんじゃないかなと思うからです。

そして、そのために必要なのが、冒頭でお伝えした

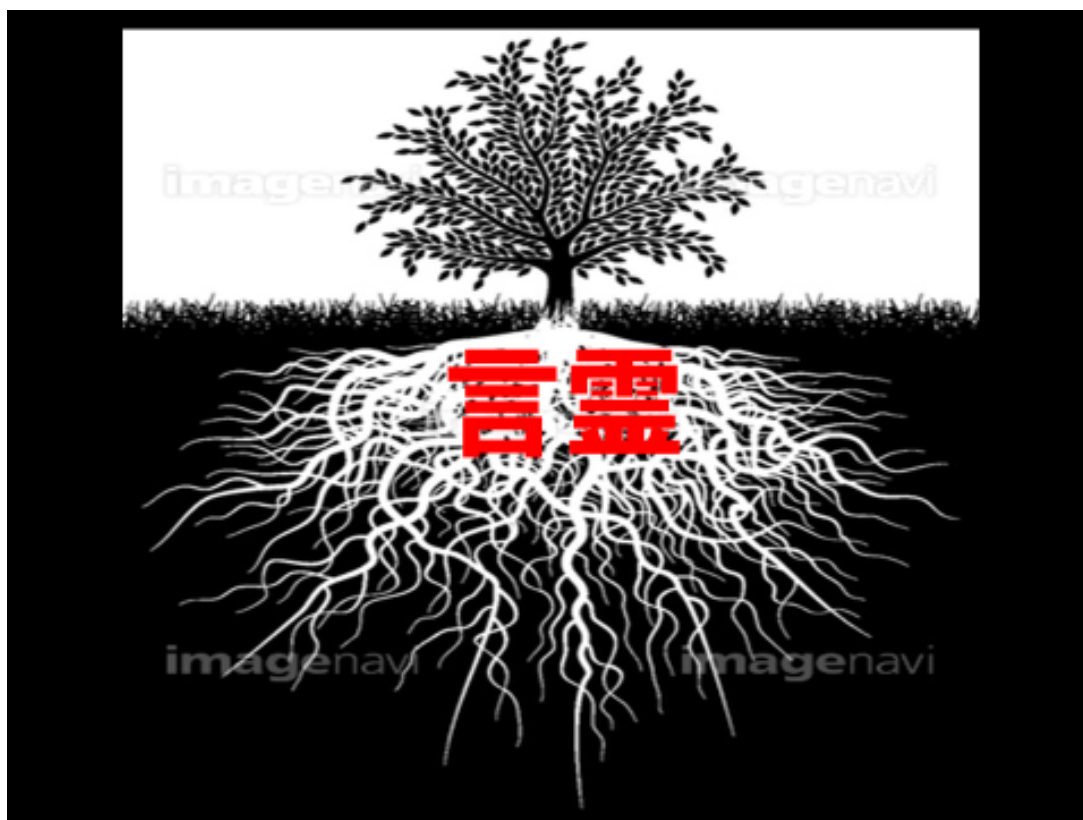
純粋に、届けたいことは何ですか？

IRM感情科学アカデミー (図1)

これなのです。

そのお届けしたいあたたかいマインドこそが、宇宙と調和する生き方に欠くことのできないものだと言えます。

そして、そのマインドこそが、この



(図7)

言霊の部分なのです。

この図のように、言霊とは太く大きな木を創造するほどの大きなエネルギーを持っています。

それほどまでに非常に大きな威力と発現力（現実化させる力）を持っているので、この PDF を読んで下さっているあなたにはぜひ、この言霊の部分、マインドの部分を大切にしていきたいと切に願うばかりなのです。

そして、一番大切なのは、そのマインドを届けようという「意識」です。

今、この世で一番スピードのあるものは「光」と言われていますが、実は「意識」のほうが光よりも速いのです。

だから「その意識を持つことで、純粋な望みがスピーディーに叶う」になるわけです。

その意識を持つこと。  
これが、あなたに一番伝えたいことなのです。

※また余談ですが、新幹線で「ひかり」より速いのは「のぞみ」ですが、のぞみ（希望）って、言い換えると、思いであり「意識」のことですよ。こんなところにも真理はあらわれてるなあ、面白いなあと思いました。

そして最後に、望みを叶える上で絶対に欠かせない、でもあまり意識されないことについてお伝えしていきます。

## 結

**純粋な望みがスピーディーに叶う上で絶対に欠かせないものとは？**

まとめとなりますが、純粋な望みがスピーディーに叶うようになるためには周りや世界に向けて渡していく生き方にシフトしていきましょう、そうすれば人間が本来持っているエネルギーが十二分に発揮できるだけでなく、宇宙の法則も味方につけることができ、より自由自在に引き寄せができるようになりますよ、というお話でした。

そして、先程も少し書きましたが、ここでお伝えしたことは、「こういう考え方をして下さい」「これを信じて下さい」ということでは決してありません。

ただ、本当に、望みをスピーディーに手に入れたい、それも絶対安心・絶対幸福の中でそれを実現したいということでしたら、こういう考え方や方法がありますよということをお伝えしているだけなのです。

お料理にたとえれば、あなたにとって最高に美味しく、心から満足して頂けるお料理が作れるレシピをお伝えしているわけなのです。

でもレシピを読んだだけで、そのお料理の美味しさや満足感を実感できることって、なかなかないんじゃないかなと思うんですね。

ですので、実際につくってぜひ味わって頂きたいと思うばかりなのですがそのレシピをどうするかは、あなた次第なのです。

ちなみに、絶対安心・絶対幸福ではなく、ただ望みをスピーディーに叶えるだけでいいのであれば、それこそ無限にその方法はありますよね。極端な例ですが、法を犯して叶えるというのもそのひとつだと思います。ですから、望みを叶えると一口に言っても、その背景には必ず絶対安心・絶対幸福というものが欠かせないように思うのです。

この絶対安心・絶対幸福が不可欠というところ、普段そんなには意識されないんじゃないかなと思うんですが、実は大前提であり大変重要なところだと思いましたので、お伝えしました。

あなたの望みが、絶対安心・絶対幸福の中で実現しますことを、心から応援しています。

ですが、もし、周りの方と和することにデトックス（ネガティブ感情）があるようでしたら、その時こそ感情学修の出番です。

そのデトックスの扉のすぐ向こう側に絶対安心・絶対幸福の世界が待っていますので、感情学修というカギを使って、そのドアを開けていただけたらと思います。

そうしたらきっと今までには体験したことのない至福の世界を実感して頂けるものと思っています。

そして、そんな体験を積み重ねていくことで、この先どんなイヤな出来事やネガティブな感情にも揺るがない自分になれると思うんです。

どんなことがあっても

「大丈夫なんだ、これも絶対安心・絶対幸福の世界への通過点に過ぎないんだ」と心から思えて、何ものにも揺るがない自信や安心感を身につけた「あなた」を実感して頂けるものと確信しています。



そんな自分になれる学修であり、デトックスから絶対安心・絶対幸福の世界への扉を開くカギとなる「感情学修」について詳しく学べるセミナーが、IRM ベーシック講座です。

感情学修について詳しく学べるだけでなく、純真学開発者の幸田宗昌先生がご参加になれば、純真学のお話もお聴き頂けると思いますので、ぜひお楽しみにお越しただけたら、と思います。

IRM ベーシック講座の詳細はこちらです。

<http://kanjyougakushyu.jimdo.com/irm-basic/>

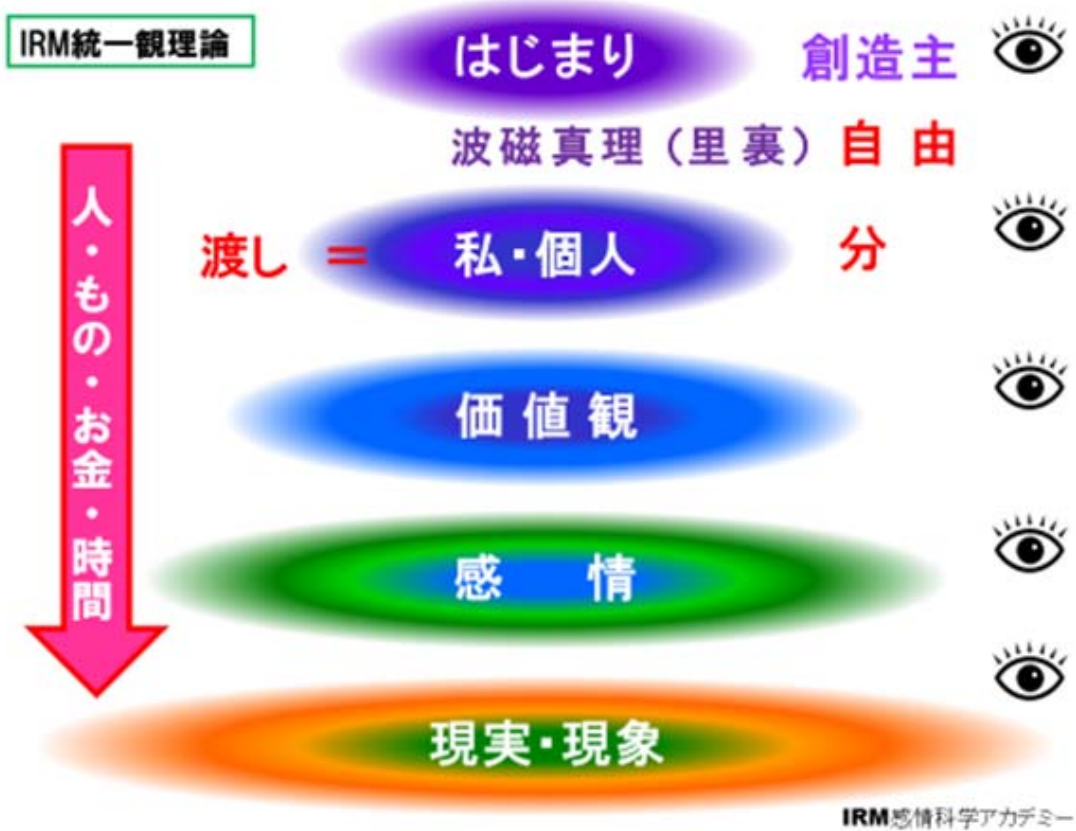
(※場合により、幸田先生が参加されない場合がございますので、ご了承のほどよろしくお願い致します)

さて、次回 PDF の予告です。

タイトルは<純真学 第二章 はじまりの秘法>です。

今、抱えている悩みや問題を解決したり、叶えたい望みをさらに確実に実現させるために、今回お伝えした「はじまり」をどう活用したらいいのかのお話を、より具体的にわかりやすくお伝えしていきます。

ヒントは、先程少しご紹介した



(図6)

こちらの図になります。

次回 PDF もお楽しみに！

そして、最後の最後に、今回も《あなたからはじまる、心のキャンドルサービス》のお話をお届けします。

この PDF は、これを読んで幸せを感じてくれるといいな、そのきっかけになってくれるといいな、と思って、書かせて頂いています。

幸せのカタチは人それぞれかもしれないけれど「幸せになりたい」という思いはあなたも、私も、そして世界中の方みんな同じなんじゃないかな、と思うからです。

だから、あなたがこれを読んで、もし「よかったな」とか「こういう見方もあるんだ、ちょっと気が楽になったな」等、思っただけいたら、そして「〇〇さんもこれを読んだら幸せな気分になってくれるかな」と思う方が、もしいらっしやったら、キャンドルサービスでキャンドルの火をわけてあげるように、おすそわけしてあげて頂けたらと思うのです。

あなたのその温かな思いは、きっとその方の心に届くと思いますし、あなたも、さらに豊かな心持ちになって頂けることでしょう。

「そんな“心のキャンドルサービス”が広がっていったら、多くの方の心にぼっと明かりが灯って少しずつでも明るい世の中になっていくんじゃないかな」そんな思いで、書かせて頂いています。

この PDF ファイルを転送してあげるか、プリントしてお渡ししてあげるか、どちらかあなたのしやすいやり方で、そしてその方が受け取りやすい形で届けてあげていただけたら、と思います。

(いろいろな方に喜んでいただけるのではと思いますが、中でも、言葉や言霊、自己実現、引き寄せ、潜在能力開発、メンタルケア等にご興味のある方でしたら、よりいっそう…と思われま)

“心のキャンドルサービス”  
あなたも、もしよろしかったら…

最後の最後までお読み下さいまして誠にありがとうございました。  
心より深く感謝申し上げます。  
スタッフ一同、あなたのご多幸と自己実現を心より応援しております。

IRM 感情科学アカデミー株式会社  
<http://irm-co.jp/>

☆ここまでが第一章となります。  
ここまでお読み下さいまして、誠にありがとうございました。

文中でもご紹介しました「IRM アカデミー」では、現在「純真学」を、開発者の

幸田宗昌先生自らライブで、わかりやすくお伝えしていますので、続きをお知りになりたい方は、お気軽にご参加下さい。

「IRM アカデミー」「IRM ベーシック」とも  
「IRM 1 DAYスクール」で、1日で学んでいただくことができます。  
先に書きました通り、相乗効果になって効果的に吸収して頂けるようになって  
いますので、ぜひご活用いただければと思います。

「IRM 1 DAYスクール」の詳細、最新情報はこちらです。  
<http://kanjyougakushyu.jimdo.com/>

<幸田宗昌先生 個人セッションのお知らせ>  
～セミナー形式があまり得意なほうではない、あなたへ～

悩みや問題の本質に気づいていますか。不安を感じる本当の原因を分かっていますか。

セッションではじっくりと時間をかけ、あなたが気づいていない心に溜まった垢（ネガティブな感情）の浄化—メンタルデトックス—を行います。  
望むように生きることができないのは、心が自由自在ではないからです。セッションの中心は、あなた自身の感情学修とインストラクターの問いかけによるメンタルデトックスです。誰にも言えなかった苦しい思いや意識下に抑え込んでしまっている気持ちをすべて吐き出し、浄化させましょう。そのときこそ、本当のあなたの人生が始まります。

個人セッションを受けられた方からご感想を頂いております。

↓ ↓ ↓

幸田先生との個人セッションは  
私にとって すばらしいものでした  
今まで 何十年も探し求めていたものが やっとたどり着いた  
そんな感じが致しました

私の中での 課題である否定的な（ある感情） このようなネガティブな感情  
をコントロールできたら  
どんなに 良いであろうと いつも 思っておりました

幸田先生とお話していく内に 私自身 考えもしなかった 視点に気がつくことが出来  
そこに ぱあっと 目の前が開けた感じが致しました

改めて I R Mの奥深さを知る事ができました  
幸田先生とセッションできたことに感謝致します  
少しずつですが もっと I R Mを勉強していきたいと思っております  
ありがとう ございました

ぜひ、あなたも、個人セッションでこんな実感をされてみませんか？

個人セッションの詳細はこちらです。

<http://irm-co.jp/session.html>

最後までお読み下さいまして、本当にありがとうございました。

あなたの、益々の自己実現、絶対安心・絶対幸福を心よりお祈りしております。